

令和2年6月1日



# ようこうだより 6月



園長 山崎 恵美

長い登園自粛が明け保育園に子どもたちの元気な声が戻ってきました。保護者の皆様には新型コロナウイルス感染拡大防止のために長期の登園自粛のご協力をいただきありがとうございました。お家でも不自由な生活で大変な状況だったと思いますが、ようやく緊急事態宣言が全面解除され子どもたちや保護者の方々の笑顔を見るにつけ少し胸を撫で下ろしているこの頃です。

しかしながら、今後も新型コロナウイルス感染の第2波、第3波に備え基本的な感染防止策の徹底を継続する必要があるとされ『新しい生活様式』も公表されました。園でも感染予防に努め安全な園生活を送れますよう努めてまいります。引き続きご理解ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

まだ肌寒い3月、今年もツバメが忙しそうに玄関の前を行ったり来たりして巣づくりを始めました。渡り鳥のツバメは冬に南へと渡り、春とともにやって来ることから『長い努力が報われ幸運がくる』『幸福の象徴』とされています。新型コロナウイルスによる自粛が一日も早く終わり賑やかな園生活が始まることを待ち望んでいた心情にぴったり！子どもたちやお家の方に温かく見守られながら完成間近というタイミングで、今度は園庭側のテラスにも、もう一つツバメが巣をつくり始めたのです。そして、最初につくられた玄関の巣にツバメの姿は無く空っぽになり巣も少し壊れかけていました。二つの巣づくりを見たのは開園5年目で初めてのことです。早速調べてみると、ツバメが巣をつくる場所は風通しがよく、ある程度人通りがあり安全な所とされていますが、巣をつくった後にカラスやヘビなどの外敵に脅かされると別の安全な場所に巣づくりをするそうです。なるほど、確かにこの前、散歩から子どもたちがヘビの抜け殻を持ち帰っていました。カラスも玄関付近でよく見かけていました。誰かに教えてもらった訳でもなく親鳥は生まれたヒナを守るために最大限の知恵を使って親業（＝親の役割）をするのですね。ヒナに甲斐甲斐しく1日300～500回エサを運び続けるツバメ。毎日、仕事などをしながら子育てに奮闘していらっしゃるおうちの方と重なり、ツバメに「いつも子育てご苦労様ですね」と声をかけ眺めることが日課となりました。親鳥を待って鳴くヒナを子どもたちと見上げます。「ツバメの赤ちゃんかわいいね」「ツバメのおかあさん、ごはんさがせたかな？」可愛いつぶやきを耳にした瞬間、胸がジーンと熱くなるのです。子どもたちとおうちの方が心の底から安心して過ごせる日常が続きますように…

## 6月～8月 行事予定

- 6月1日(月) 春の遠足(乳児) ※予備日 6/8  
・園周辺の散歩にでかけます。
- 6月25日(木) 歯科検診
- 7月7日(火) 七夕
- 7月13日(月) 内科健診《1》



### ※新型コロナウイルス感染防止のため

- ・6/20 全体懇談会→中止
- ・7月プール開き→水遊びに変更
- ・7/17・18 年長お泊り保育→7/17のみ泊り無し(詳細は後日)
- ・8/8 夕涼み会→子どものみで『夏祭り』を保育中に行います。  
保護者参加無し。保護者会飲食コーナー無し。



<山でロープ登り！>

→裏面につづく



## ～どろんこと太陽～

ようこう保育園の子どもたちが口ずさむ歌『どろんこと太陽』

♪ ぼくたちは わたしたちは すばらしいなかまたち  
みんなの ともだちは どろんこと太陽  
みんなで みんなで あそぼうよ  
げんきな げんきな ようこうほいくえん ♪



4年と少し前の3月、開園前、私たちはみどりの森ようこう保育園にぴったりの歌を探していました。手元の楽曲の中から「この歌、ステキなんです！」と差出し歌をうたってみたところ即決。この歌詞は、随分むかし、昭和の時代に、ある保育園の保護者と保育者たちが“太陽のもと、泥んこになって遊ぶ子どもたちであってほしい…”と願ってつくったものです。さいごの歌詞に「ようこうほいくえん」を入れ完成。“太陽の下でどろんこになって一緒に遊びたい！”間もなく開園しやってくる子どもたちをイメージしながら、職員みんなで心を弾ませ歌い覚えたことを思い出します。

小さい子どもたちも、大人でも、何度か聴いたら「げんきな げんきな…ようこう保育園 おー！」となんとなく覚えて口ずさんでしまいます。簡単な歌詞と曲であることは確かですが、日常的に目にしたり体験しているもの、面白さや楽しさがいっぱいのも、いっしょにいる大好きな人＝「どろんこ」「たいう」「みんな」「なかま」のワードが散りばめられている歌だからこそ、子どもたちは直ぐに覚えいつも口ずさんでいるのかもしれない。

この歌の2番の歌詞は「…みんなで みんなで つくろうよ げんきな げんきな ようこうほいくえん おー！」です。「みんなで つくろうよ」…なんて素敵な言葉でしょう!!

時代が変わればいろいろなことが変わります。情報や便利なものが次から次へとたくさん溢れ、当たり前だったことがそうでなくなったりもします。人にとって何が本当は必要なのか？子どもたちに私たち大人が何を伝え手渡していくべきなのか？年のせい、難しい世の中になったなあ…と考えることもしばしばです。いつの時代でも変わらないこと、大切なこと…それはたくさんあるでしょうが、人は人や自然と共に生きていくことではないかと思ってもいます。ひと昔は当たり前だった遊び中心の子どもの生活。最近、“外遊びが子どもを育てる”と再確認され始めましたが、実際のところは遊びが足りていません。外遊びに必要な『3つの間』、つまり『空間』=のびのびと遊べる場所や自然、『時間』=じっくり、たっぷり遊ぶ時間、『仲間』=いっしょに遊ぶ友だちや異年齢の子どもとの繋がり、こうした環境が少なくなってきました。子ども自身がその環境をつくることは不可能ですが、大人がつくることはできます。

『太陽のもと、時間を忘れ汗をいっぱいかいて遊び呆け、友だちと大きな声で笑い泣き、お腹いっぱい食べてぐっすり眠る』そんな子どもたちの今しかできない貴重な日常を『どろんこと太陽』の歌を聴くとき、ちょっとでも思い出してもらえれば大変嬉しく思います。

### ～ブログ再開します！～

登園自粛に伴いブログも自粛中でした。6月から子どもたちの様子をブログでお伝えします。

### ～誕生日プレゼント♡おめでとう～

昨年度までの布製手づくりプレゼントを本年度は写真・手型・メッセージ入り色紙にします。

今まで同様心を込めて誕生日に園で一番輝いている写真や手型、メッセージを贈ります。